



日本民家集落博物館散策 活動報告

—先人の暮らしをのぞく—

担当 一花

心待ちにしていた忘年会の日の午前中、服部緑地公園の一角にある日本民家集落博物館で江戸時代にタイムスリップして、先人の暮らしをのぞく一時間の散策を実施しました。

【実施日】 2021年12月17日 AM10:00～11:15

【参加者】 32人

【所感】

- 日本の民家は、その土地の気候風土によった造りになっており、その暮らしぶりに先人の知恵を改めて学んだように思います。程よい参加者数で、雨上がりの民家集落をゆっくり見学でき、一時間あまりの活動には最適でした。
- 東山魁夷画伯の「古い家の無い町は、思い出のない人間と同じ」という言葉に惹かれ、日本で古民家再生を50件以上成し遂げたドイツ人デザイナーがいる。彼は「この国の棟梁の技術は世界一だと思う」という言葉も残しているが、その言葉を噛みしめ日本民家の素晴らしさを感じたひと時であった。
- 冬の雨上がりの澄んだ空気の中、日本各地の古民家、茅葺き集落を見学。気候風土に適した建築で興味深い。当時の生活が垣間見え、日本の昔話の世界にタイムスリップしたように思えた。紅葉の残る師走の公園散策もイイねっ!!
- 午前中の散策として丁度いい時間でした。子供の頃に田舎で出会った様な懐かしい感覚を覚えた民家がありました。木々の向こうに青空も見え始め、クヌギの落ち葉が埋め尽くしている道を歩くのは趣があり楽しかったです。



クヌギ葉の 落ち葉踏みつつ 径行けば
古民家見えて 緑地晩秋

